

古川川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域作りに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、古川川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1/10の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 被害対象を減少させるための対策
 - 【地域の防災力を高める警戒避難体制の強化】
 - ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）（県）
 - 【リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫】
 - ・避難施設の見直し（南種子町）

河道付替，河道掘削，護岸整備，橋梁架替 等
【鹿児島県】

- 被害の軽減，早期復旧・復興のための対策
 - 【土地のリスク情報の充実・提供】
 - ・洪水浸水想定区域図作成・公表（県）
 - ・ハザードマップの作成・充実（南種子町）
 - 【防災情報，避難体制の検討・連携強化】
 - ・マイ・タイムラインの作成・支援（県・南種子町）
 - ・水位計・監視カメラの設置，防災情報の提供・共有（県・気象庁・南種子町）
 - ・水害リスクマップの運用（県）
 - ・地域住民における自主防災組織等の強化・連携（南種子町）
 - ・自主防災組織等の防災訓練（南種子町）
 - ・地域防災計画等の点検（南種子町）
 - 【防災学習の推進】
 - ・防災教育の実施（気象庁）
 - ・防災ワークショップの実施（気象庁）
 - ・小学校への防災教育の推進（南種子町）
 - 【地域の防災力向上】
 - ・防災研修，出前講座等の実施（県・気象庁）
 - ・地域防災拠点施設の整備（南種子町）

砂防堰堤（除石）【鹿児島県】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - 【洪水氾濫対策】
 - ・引堤，護岸整備，橋梁架替，河道掘削等（県）
 - 【土砂災害対策】
 - ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（県）
 - 【治山施設の整備，森林整備・保全】
 - ・治山施設整備による土砂流出抑制対策（県）
 - ・森林整備による流出抑制対策（県，町，森林組合等）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

古川川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○古川川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした引堤、護岸整備、橋梁架替、河道掘削等を主に実施
 土砂災害による流下能力不足防止を目的とした森林の整備・保全、治山施設の整備を主に実施
 土地のリスク情報の充実・提供、防災情報、避難体制の検討・連携強化、地域の防災力向上、土地利用・住まい方の工夫など、流域内の被害軽減を目指す。

【中期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした引堤、護岸整備、橋梁架替、河道掘削等を主に実施

【中長期】 土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防施設の整備、森林の整備・保全、治山施設の整備を主に実施

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(引堤、護岸整備、橋梁架替 河道掘削)	鹿児島県	5か年加速化対策完了 引堤、護岸整備、橋梁架替、河道掘削 等		
	土砂災害対策	鹿児島県	砂防施設の整備 等		
	森林の整備・保全 治山施設の整備	鹿児島県 関係機関	間伐等の森林整備 等		治山施設の整備 等
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県	地域の防砂力を高める警戒避難態勢の強化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県	洪水浸水想定区域図の作成・公表		
	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県 南種子町 気象庁	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供、水害リスクマップの運用 等		
	防災学習の推進	気象庁	出前講座・防災教育の実施、防災ワークショップの実施		
	地域の防災力向上	鹿児島県	防災研修、出前講座等の実施		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進